

して居ります。

混合組と言へばこんなに惱み許りと思召しますかしら。小さい子がお兄さん達に本を讀んで貰つて居る光景なぞ寫眞にしてお送りしたい位。此の頃、オーヴァーは一人で着ませうと申して置きましたら、小さい子達は、着られない時は私が居りましても、必ずお姉さん達に着せて貰つて居ります。廿八乍ら、いたわり乍ら着せて上げたり、着せて貰つたりしてゐる様子を一人で嬉しさうに見て居る私を御想像下さい。そんな譯でこのお部屋も家のような氣がするのでせうか、毎日誰か彼かに無心にお母さんと呼びかけられます……年長兒の就學期が近づきました。訓練の問題も此の頃漸々一筋の道が見へて來たようでございます。では折々の御鞭撻を待ちつゝ今日は之にて。

(二月九日)

室内遊び……

附屬幼稚園

町田 行子

戶外遊びの一番好きなことも違も、寒い冬になるに多く時間を室内で過ぎなくてはならない。室外が相當に暖か

くなるおひる近くまでの何時間かは、仕方なしに室内にさちこめられてしまふ。さなるに、戶外で力一ぱい自由で遊んでゐた元氣さのあふれくるのを、さうしたらよいであらう。お遊戯室で度々リレーもし、軍隊式行進もする。鬼ごつともすれば、室内特有の樂しさもあるかくれんぼもする。しかしこれ等は戶外での遊びが、そのまゝ室内でも出來るさいふのであるが、そればかりでなく、かへつてさういふ時を利用していろくくの面白い遊びなごもあらう。さうして室内での生活も亦樂しませたい。この頃にお部屋でよくするあそびを少し擧げてみるこ、

○まりかくし、鬼を一人お廊下に出しておき、その間に誰かのエプロンの下にまりをかくし、鬼をよび入れまりをみつげさせる遊びである。鬼が室内に入つてくるに同時にピアノを小さな音で弾き始める。鬼の歩くにつれ、まりのかくし場所に近づいて行く時には音をだんくく大きくし、まりから遠ざかつて行く時には音を小さくして行く。鬼は音の強弱だけを頼りにまりを探さなければならぬ。案外に「音」に無頓着なごもの多いごこである。「音」にお構ひなしに歩きまはり、いゝ加減なあて方をする。よく耳をすまし、注意深く歩くごこちがちきに探しあてる事が出来る。これはなれるまでは割合に難しい遊びかも知れない。はじめは机を

きけて一列圓形に腰かけてゐてしてもよいが、少しなれてくるミそれではやさしすぎて呆氣ない位になる。

かへつてふだんの通りいくつかのグループに分れてお机の席についてゐる方が面白い様である。鬼であつたこどもはみつけたまりを、次の時に誰かのエプロンの下にかくさせる特權をもつてゐる。まりをかくしてゐたこどもは、次には鬼になるのである。

○椅子ざり、こども達が一番好きな室内遊びはこれである。雨の日には、よくみんなの希望ではじめられる。

しかしこれは机を一ミ所に集め、そのまはりに椅子を外向きにおくさか、机をさけて椅子をまるくおいてするので、準備さしてもお部屋全體を動かし、その上皆が歩きまはるのであるから、午後が都合がよいさいふ事になる。椅子ざりの行進に使ふ曲は、皆がよく知つてゐる元氣にうたへる歌がよい。歌の調子ミ歩調さ一致するものでなければならぬ。その點軍歌なきよく合ふやうである。それとも、歌はない行進曲の方がよいのであらうか。お辨當の後片附もさう／＼に椅子ざりを始め、いつもおかへりまで夢中でつゞけるのであるが、おかへりの時間がせまつてしまつた時には途中でやめるさいふ事もいやなので、お椅子に腰かけられなくなる人を一度に二人、三人ミふやしてする。之

も亦面白いものである。そして一人か二人残るまで、終りまでするこごにしてゐる。

○しりざり、机を一ミ所に集めてそのまはりに皆が腰かけられる様にする。おさなりへおさなりへミ順々に云はせる。あげられた名は黒板にかき並べて行き、前に出た名はよける事にする。

○「ア(イ、ウ……)」の字のつくもの、しりざりミ同様に順々に言はせるのであるが、答へられないこごもが割合に多いのである。順番に云はせた上、更に知つてゐるだけ云はせ、尙あれば先生があげていふ。又はいくらかの暗示を與へてあてさせる。(しりざりの時も同様) ○「何」で出來てゐるもの、例へば「木で出來てゐるもの」の名をあげさせるのである。先づ最初は「このお部屋の中にゐるもの」ミ限定して、實物を見て答へられる様にする。次には「お家にあるもの」ミ少し範圍をひろげ、終にはたゞ「木で出來てゐるもの」ミさいふ事にする。

○大きい提灯小さい提灯、一人の鬼が「大きい提灯さいふミすぐに皆は手で小さい形をつくり、鬼の命令さはいつもあべこべの大きさを手で作つて示すのである。間違へる人がなければさん／＼つゞけて早くいふ。間違つたこごものひざりを次の鬼に指定してさせる。

○一、二、三、四、五、六、七、八、おさなりへミ順に八

までの數を送つて行くのであるが、その中「四」の時には口では云はないで頭の上(額の下)に手をのせ、「八」の時にはやはり黙つたまゝ拍手する。なれ、ば、途中でこちらの方向へ送つてもよい事にする。右か左へ顔を向けて云ひ送る。「四」の時には手も顔の向きによる。これは相當に大きなこゝもでなければ出来ないこゝであらう。

○その他 マットなき持ち込み土俵をつくり、豆行司、豆相模の賑やかな國技館を開く事もある。又さくら、花一モンメ、お芝居、つこなぎ、いろくさ室内遊びも楽しいこゝである。

第七回全國幼稚園關係者大會收支決算報告

仙臺市保育會

收 入

一 金貳千壹百七拾圓四拾七錢也 收入決算高

内 譯

金貳百五拾參圓 仙臺市保育會加盟各幼稚園支出金

金八百貳拾圓 大會出席者會費

金壹百圓 補助金

金七百八拾九圓五拾錢 寄附金

東京フレイベル館社長貳百圓

市内幼稚園募集額

五百八拾九圓五拾錢

會員松島巖釜見學旅費

金貳百四圓五拾錢 會金利子

金參圓四拾七錢 預金利息

支 出

一 金貳千壹百七拾圓四拾七錢也 支出決算高

内 譯

金壹百四拾四圓四拾錢 印刷費

金壹百五圓九拾四錢 通信運搬費

金四拾貳圓四拾七錢 會場費

金壹千壹百參拾五圓七錢 接待費

金貳百九拾參圓四錢 雜費

金參百九拾參圓九拾五錢 松島巖釜見學費

金五拾五圓五拾錢 鐵道辨納金

(鐵道割引利用者(五〇軒以上)四百名に充たさる人員七四名分一名七五錢の割)

收入支出差引無殘